

式 辞

今日で1学期が終了します。生徒の皆さんには、この夏休みを有効に活用して、通常の学校生活では味わえない充実感を得てほしいと思っています。そのことに際して私がお願いしたいことはただ一つ、「命を守る行動をとる」ということです。

大げさに聞こえるかもしれませんが、夏休みにおける水の事故や交通事故で命を落とす児童生徒は残念ながら絶えません。「自分は大丈夫」「みんなが一緒なら大丈夫」という安易な判断が大きな事故につながることを心に刻んでください。

近年の異常な暑さも含めて、災害から命を守ることも大切です。7月12日には、松山市の中心部で大規模の土砂災害が発生しました。3人が死亡し、住宅地に流れ込んだ大量の土砂の撤去作業は今も続いています。本校においても、1学期の間に、大雨警報の発表により授業を自宅待機に切り替えたことが2度ありました。各家庭での災害時の対応についても再度確認してください。

報道されることは減りましたが、新型コロナウイルス感染症の集団感染も各所で起こっています。その他の感染症や熱中症など、この夏も私たちの命を脅かす要因は生活のあちらこちらに潜んでいます。正しい知識の下、病気や怪我の予防に努め、どうか安全に留意して楽しい夏休みを過ごしてください。

最後に、なぜ命は大切なのか。人の命も自分の命も、決して傷つけてはならないのはなぜか。それは、命に関することはやり直しがきかない、本当に取り返しがつかないからです。

以上、夏休みの間、事故、災害、病気や怪我から「命を守る」ということを強くお伝えして、令和6年度第1学期終業式の式辞といたします。

令和6年7月19日

愛媛県立東予高等学校長 渡邊 琴子